

電子書籍の普及と図書館 ～フィラデルフィア フリーライブラリー～

ニューヨーク事務所

我が国においても、電子書籍（eBook）や、eBook を読むための eBook リーダーの販売が徐々に増えてきているが、米国においてはここ数年の間に eBook 市場が急速に拡大している。これに伴い公立図書館においても書籍の電子化が進められ図書館のパーソナルコンピューター（PC）での閲覧のほか、図書館のウェブサイトへアクセスすることで、自宅やオフィスに居ながらにして eBook を借りることも可能だ。

全米を対象とした、“2011 Ebook Penetration and Use survey report” においても、「米国人の 6 人に 1 人は eBook リーダーを持つ」「eBook リーダーを持っている人のほうがたくさん本を読んでいる」という結果が示されるなど、米国では書籍の電子化と共に、eBook リーダー市場も急成長中である。公立図書館の中には、eBook の貸し出しからさらに進んで、eBook リーダー自体の貸し出しサービスを行っているところもある。今年 1 月、愛知県安城市長の米国公立図書館等の行政視察の支援を当事務所が行った際、フィラデルフィアの公立図書館「フリーライブラリー」を訪れる機会を得た。同図書館の電子書籍普及への取り組みについて報告する。

あなたも利用できるフリーライブラリー

フリーライブラリーは 1894 年に公立図書館として開設され、現在は市内 54 か所ある公立図書館の中央図書館としての役割を果たしている。図書館を利用するためには会員登録の必要があるが、当該図書館では、国外からの登録も受け付けており、海外に居ながらにして登録も電子書籍の貸し出しも受けられる（非居住者は年間 35 ドルの会費が必要）。

多彩な利用者サービス

フリーライブラリーでは、年間 135 回もの作家による講演会（議事録はウェブサイトに掲載され、いつでも聴講可能）、低所得者層向けの PC の貸し出し、ゲームをしながら文字を学べる学習教材の提供、子どものための読み聞かせ教室、高齢者（50 歳以上が対象）向けの PC 教室など、充実した市民サービスを提供し、集客努力にも余念がない。さらに近年では電子書籍の需要の高まりに対応するため、2 万 7 千冊（2012 年 2 月末現在）の書籍をデジタル化。フィラデル

フィアに関する歴史的な写真や版画、地図など、図書館が保管する特別コレクション約 2 万 3 千点も、オンライン上で閲覧可能である。(特別コレクションデジタル化にあたっては、日本人スタッフも活躍している！)



広々とした閲覧室



子どもコーナーを案内するかわいい床の表示

eBook リーダーを借りてみよう！

同館では 2009 年より、IMLS(Institute of Museum and Library Services)の助成金を受け、大都市圏の公立図書館としては初めて eBook リーダーの貸し出しを開始。“eReader for Seniors”という高齢者向けのサービスの一つで、1 時間の使い方講習を受講すれば、eBook リーダーの一つである“nook”（米国最大の書店チェーンであるバーンズ&ノブルが販売する eBook リーダー）を借りることができる。nook にはバーンズ&ノブルのシステムを使い、いくつかの書籍が予め登録されており、利用者は一定の貸出期間中 nook を使って読むことができる。軽い、見やすいといった eBook リーダーの使いやすさを実感してもらうとともに、アマゾンの Kindle やアップルの iPad など、現在販売されている様々な eBook リーダーの中からどれを選んだらよいのかのヒントを提供し購買を促進させ、eBook リーダーを普及させることで、結果、図書館の書籍貸し出し冊数の増加を目指すというものである。書籍に比べ高価な eBook リーダーの貸し出しを行うに当たり、万が一紛失や破損をした場合は、実費弁償を義務付けるとともに、返却がない場合は、会員登録の際に提供された個人情報をもとに追跡・督促を行うとのことであった（基本的には良心的利用を前提としたサービスの模様）。なお、nook の貸し出しは対面でのみ行うため、図書館へ直接出向かないとサービスを利用することはできない。

さらなる充実に向けて

同館では、PC や eBook リーダーの使い方教室など利用者向けの講義スパー

スの確保、あるいは館内での電子書籍の閲覧や低所得者層への PC の貸し出しサービスをさらに充実させるため、将来的に図書館の増築を予定しており、PC200 台を配置し、IT に特化したスペースを設けたいとのことであった。



館内にあるシニアセンター。専属スタッフ 手のひらサイズのタブレット”nook”が常駐している。

新時代の図書館の役割

我が国においては、世界的には汎用性のない日本語書籍という特殊性、また著作権の課題などから電子書籍の販売数自体が米国ほど劇的に増加していないこと、あるいは eBook リーダーが比較的高額であることなどから、市場においても、また図書館においても、電子書籍はそれほど急激に普及しているわけではない。しかし今後、図書館や書店に出向かなくても eBook リーダーや PC で本が読めるという、選択肢の広がりにより、本を読むこと自体がトレンドとなれば、利用者数の減少に悩む図書館にとっても、電子書籍普及の価値が見いだせるであろう。そして書籍の電子化によって不要となった図書館スペースを利用し、eBook や PC の使い方教室、あるいは児童や高齢者向けの講習会など多彩な市民サービス、交流の場として機能させることができれば、図書館は市民にとってより身近で、有益な存在となるだろう。

フリーライブラリー公式ウェブサイト

<http://www.freelibrary.org/>

安城市公式ウェブサイト（市長のページ「海外行政視察報告」）

<http://www.city.anjo.aichi.jp/mayor/message/2012/2.html>

牧所長補佐（広島市派遣）